

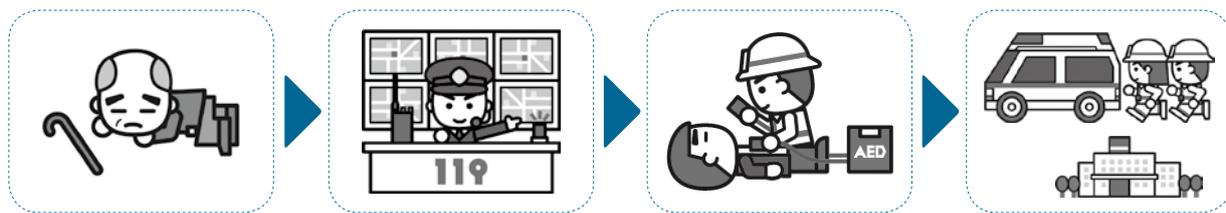
救急車が来る前の、あなたの応急手当が尊い命を救う！

9月9日(水)は「救急の日」



■救命リレーで大切な命が救われました！

ひたちなか市内の施設で、倒れている男性を発見した方がすぐに行動を起こしました。周囲の方々と協力して、119番通報をし、施設内のAEDを手配して、心肺蘇生を開始。救急隊が到着するまで懸命に応急手当を続けました。発生場所に一番近い消防署から救急車が出動して病院に収容し、現在、男性は後遺症もなく普段通りの生活を送っています。



■使おうAED！減らせ突然死

心停止後、3分以内にAEDを使えば7割が助かり、逆に1分遅れるごとに救命率は1割下がります。日本で年間約7万人が亡くなる心臓突然死。AEDの設置台数は増えていますが、2013年に目撃された心停止症例のうち、一般の方々がAEDを使ったのはわずか3.6パーセントでした。その場に居合わせた人が、救急隊が到着するまでの間、応急手当をすることによって救命率が高くなります。“いざ”というときのために、心肺蘇生法やAEDの使い方を学んでおきましょう。

消防署では、随時「救命講習会」を開催しています。各消防署へお気軽に申し込みください。

【申し込み・問い合わせ】▽東海消防署(☎282-2038) ▽笹野消防署(☎271-0119) ▽神敷台消防署(☎263-7611) ▽田彦消防署(☎274-0911)

■救急車の適正な利用にご協力ください！

ひたちなか・東海広域事務組合消防本部管内の今年上半期の救急出動件数は、昨年度の同時期と比べて210件増え3,517件、1日当たりになると19件です。もし、最寄りの消防署の救急車が緊急性の低い事案で出動しているとき、家族が一刻を争う状態になったら…。救急車をすぐに要請しても離れた場所から駆け付けけるため、通常よりも到着が遅くなってしまいます。救急車と救急医療は、限りある資源です。正しい利用を心掛けましょう。

「救急イベント」を開催します！

期日▼9月5日(土)

時間▼午前10時～午後3時

場所▼ファッションクルーズニューポートひたちなか店内および屋外駐車場
(ひたちなか市新光町35)

内容▼ミニ救急講習会(心肺蘇生法・AEDの使用方法)、スタンプラリー、防火着体験、救急・消防自動車展示等

問い合わせ▼ひたちなか・東海広域事務組合消防本部警防課(☎282-2153)



昨年イベントの様子